

学校だより

No. **15** 青梅市立第三小学校
校長 平崎一美

令和3年1月29日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

「はやぶさ2の帰還」

～ 夢は思い描くことで実現できる ～

副校長 森田 彰

令和2年12月、東京スカイツリーの高さと変わらないくらいの小惑星「リュウグウ」から、小惑星探査機「はやぶさ2」が26億キロはなれた地球に帰還しました。小惑星リュウグウの表面からサンプルを採取して地球に送り届けるミッションを完遂したことは、驚くべき技術であるといわれています。

さて、ここで考えてみます。「すごい、と言われているこのミッション。どれほどすごいことなのだろうか？」ニュースで「すごい」といわれていることを、私はなかなか実感できませんでした。そこで、こんなことを考えてみました。

「はやぶさ2がどれほどの正確さで戻れば地球に帰還することができるのか？」

このことを解決するために「地球の周囲は4万キロ。」「直径＝円周÷円周率で直径はおおよそ1万7千キロ。」「はやぶさ2が戻る距離は26億キロ。」という調べてわかった知識を組み合わせてみます。さらに、6年生で習った「比」の考え方を使います。

「はやぶさ2から見れば地球はとてとても小さく見えるのであろう、そのために自分をはやぶさ2、直径0.5ミリのシャープペンシルを地球と見立ててみよう。」

【計算式】

地球までの距離 ：地球の直径 ＝ 自分の目からの距離：シャープペンシルの芯

2,600,000,000キロ：17,000キロ＝ x センチ ：0.05センチ

計算してみると、 x は7,650センチ＝76.5メートルとなりました。校舎内で見ると、放送室から体育館側の昇降口の長さです。

つまり、はやぶさ2が地球上に戻るとは、「放送室から体育館側昇降口にあるシャープペンシルの芯にめがけて、寸分も変わらず向かう」ことと同様のことである、ということになります。なんだかすごいですね。

帰ってきたことだけでもすごいのですが、地球からそんな小さな惑星に到着したこと、地表のサンプルを持ち帰ったことなど、多くの難題をクリアしてきました。

小惑星のリュウグウという名前は「竜宮城」からとられたそうです。秘密の玉手箱を手に入れることを夢見て付けた名前です。多くの夢と人間の知恵がこの偉大な事業を成し遂げていたのです。

新型コロナウイルス感染症に悩まされることは多くありますが、人間には夢を持つ力と知恵があります。きっと私たちはこの長いトンネルの出口を見つけることができるに違いありません。夢をもち、人々の知恵を結集することで、不可能と思われることも可能になることを、「はやぶさ2」は教えてくれています。

校内研究について

本校では、「かかわり合い、多様な考え方を認め合うことのできる児童の育成 ～道徳の授業中心として～」を研究主題として、2年間にわたって取り組んできました。本校の児童は、明るく素直で、男女仲がよく、授業中は活発に発言する一方で、自己肯定感を高め、自分や他人のよい所に気付かせていくことが課題です。そこで、道徳の授業の中で、かかわり合いの場面や互いの意見に耳を傾ける体験を積むことによって、多様な考え方を認め合うことができるような指導法の工夫を重ねてきました。

コロナウィルス感染予防のため、かかわり合いや話し合いの場面を思うように実施することはできませんでしたが、発問の仕方や教材の提示の仕方など指導法の工夫を行うことで、児童が友達の意見を認めながら、活発に意見を発表し合ったり、教材文の登場人物の気持ちを正しく読み取ったりしながら自分の意見をもつことができることがわかりました。

働き方改革

学校現場の働き方改革は教員の意識改革とともに、様々なシステムの変更や支援により進んでいます。

SSS（スクール・サポート・スタッフ）は三小に2名配置されています。これまで教員が自ら行っていた様々な作業のうち、教員以外でも行うことのできる業務をサポートしてくれています。教材の印刷、掲示の手伝い、給食準備の補助、校内の消毒などでお世話になっています。また、放課後の電話対応については青梅市全小中学校で18:30～翌日8:00までを留守番電話で対応するようになっています。

教員はその時間に教材の研究をしたり授業や生活についてじっくりと話しあったりすることができています。

学校の教員本来の業務である「児童を育てる」ことに注力するための改革です。

保健室から

日頃より、子供たちの健康管理へのご協力ありがとうございます。先日、今年度最後の身体計測を終え、この1年での子供たちの成長を実感しました。3学期に入り、水道の石けんが泡ハンドソープに変わっています。子供たちは冷たい水で一生懸命手を洗っています。現在教室では、感染対策のために、換気をしながら授業をしています。気温が低い日は体が冷えてしまいますので、服装で調節することができるようにご準備ください。

かすみ学級の生活から

かすみ学級では、毎年HIPHOPのダンスにチャレンジしています。プロのダンスの先生に指導して頂き、様々な機会を作って発表しています。大勢の観客の前で披露することは、子どもたちにとって自信になり、たいへん貴重な経験になっています。子どもたちはHIPHOPのダンスが大好きで、音楽が聞こえてくると体が自然と動き出します。今年度は、「スーパースター」という曲で、42人、一人一人がスーパースターになって楽しく活動しています。

1年生の生活から

1年生は、生活科で昔遊びをしています。こま、けん玉、竹とんぼ、おはじき、めんこ、かるた、すごろくなど、様々な遊びをしています。

授業中だけでなく、休み時間にも昔遊びをして遊ぶ子がたくさんいます。はじめはこまが回せなかった子も今では友達と競い合う姿がありました。

遊びの中でも成長していく姿が見られ、とても微笑ましいです。

2年生の生活から

今年は2月2日が節分です。2年生は「オニ」に興味をもち学習をしています。国語「おにごっこ」では、遊び方とそのおもしろさを見付けました。発展学習として「クラスで楽しめる遊び」を本で調べ、一人ずつまとめました。図工「泣いた赤鬼」では、本の読み聞かせの後に、クレヨンと絵の具で優しい鬼をイメージして作品作りをしました。文章を読み取る力や最後まで丁寧に仕上げる力が身に付き、成長を感じました。

3年生の生活から

社会科では、昔の道具や生活について学習しています。初めて見る道具に、「何をする道具だろう。」「どう使うのだろう。」など興味津々です。

4年生の生活から

総合的な学習の時間では、「二分の一成人式」の準備を進めています。ソーラン節用の法被の裏に、自分の好きな漢字を書いたり、合奏の練習や呼びかけの練習をしたりと当日に向けて気持ちを高めているところです。

5年生の生活から

小学校生活最後の展覧会と同時に、書初め展の準備を進めました。

限られた時間の中でどのクラスも集中して取り組むことができました。

6年生の生活から

国語「思い出を言葉に」では卒業文集制作に取り組み始めます。今年度は行事が減少してしまいましたが、その中から自分の思い出を探して、世界に1つだけの文集を全員が書いていきます。

教室には卒業カウントダウンカレンダーが設置されました。もちろん、子供達の手作りです。残された小学校生活の日々を大切にしながら、毎日を精一杯、みんなで仲良く過ごしていきたいです。

道徳授業地区公開講座

道徳授業地区公開講座テーマ：「多様性を認め合う道徳教育」

◆実施方法

新型コロナウイルス感染予防のため、今年度公開はせずに令和3年2月13日(土)から2月19日(金)の間に各学級で道徳授業を行います。

◆意見交換会

意見交換会は中止とさせていただきます。

後日ホームページにて、行った道徳授業のポイント、成果と課題を掲載いたします。

お知らせ

◆学校配信メールについて

システムの運営上、新学期になりましたら現在お預かりしているデータをすべて消去し、改めて登録をさせていただいています。データ抹消は4月上旬を予定しています。

なお、スマートフォンのアプリをお使いの方も登録されたデータは抹消されますので、再登録が必要になります。4月に改めて詳しくお知らせいたします。

◆学期末転出について

学校では来年度の計画を立てているところです。児童数の増減は来年度の学級数を決定する重要な事項です。学期末の転出などは予定の段階でも結構ですので、できるだけ早めに担任まで連絡をお願いします。

◆令和3年度学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の提出について

2月1日付で青梅市教育委員会から文書が配布されます。内容をご確認のうえ、必要な方は提出をお願いします。**提出は始業式(4月6日)**です。お間違えのないようお願いいたします。